修学旅行新聞

発行所
財団法人
全国修学旅行研究協会
東京都千代田区西神田
1丁目3番地（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

考え直そう修学旅行

全修協主催の座談会（1）

学校生活の総仕上げ

問題は実施の方法に

修学旅行を理想的に行なうにはいかにすべきか。学校行事のなかでも大きな比重を占めながら根本的な研究が不足し、とかく片隅に追いやられがちな修学旅行を、このへんであらためて考え直してみたい。修学旅行の本質を追求し、さらに具体的な問題も掘りさげて検討し、正しい修学旅行のありかたを確立したいと思う。―開会の挨拶から―

原田　目下、国会の会期中で、きょうは本会議もひらかれるが、機を得た座談会なのでぜひとも出席しなければならぬと思ってうかがった。

司会　現在の修学旅行のあり方について感じられておられることは…。

原田　現在行なわれている修学旅行に多くの問題点が指摘されよう。たとえば最近連続しておこった飛行機事故、あの悲惨な事実をみるつけ、修学旅行も他人ごとには思われないくらいだ。あの原因は、なんといっても〝営業〟の過剰だと思う。東京―大阪間を三十分で飛ぶ計画があるのに、ジェット機の発着する飛行場が完全でなかったり、サービスのつもりで空路でない富士山付近をとんだりするからだ。

これらのゆめをこわしている。にぎやかなところをあるきまわり、くたくたにつかれて寝につく。どうもただそれだけのことのように思われる。

山本理事長　それは修学旅行のやりかたに問題があるからだ。

大橋　修学旅行の可否論は昨年あたりからでているようだが、現在ではむしろ方法論に移ってきている。

原田　私は武者修業というものを考える。自分もその経験があるが、これも一つの方法として考えてよいと思う。

山本理事長　反対に会社の慰安旅行みたいな修学旅行もあるという。このあたりで修学旅行を再検討せねばなるまい。

坂田先生も「出席する」といわれていたが、以上のようなわけで急にでられなくなったのだとおもう。私は全修協の運動に全面的に共鳴しているので私としても力をいれているわけだ。というのは修学旅行が教育行政上きわめて重要なものだとみているからである。

司会　現在の修学旅行のあり方について感じられておられることは…。

原田　現在行なわれている修学旅行のねらいとか目的などは現行の指導要領にはっきり打出されており、積極的な意見は出ていないようである。

松村　東京都では編成要領を作っているが、そのなかで修学旅行の受けとめかたが書いてある。目的地の選定などは学校によって異なるので一定したものを打ち出すことは困難であろう。

成田　高校のばあい、とくに指導要領などはあまり研究してはいないようだ。ただ慣習に従っているだけだ。最近の傾向としては新幹線を利用するとか、コースを少し変えるとかしている。私は修学旅行の手引として①歴史上の遺跡地理的な視察などを対象とする効果的な見学②ふだんの学校生活では得られぬ体験を身につけさせること、つまり団体旅行の意義を知らせること③団体規制を守ること、が社会的に必要であるとの三項目を作成している。

田中　高校生は青年期に入ろうとしている年代だけに難しい問題がある。女子のばあいはとくに真剣に取り組まねばなるまい。前述のように日比谷高校は修学旅行をやめたわけではないので、一応自粛に制限はないが、その方法はだいたい公立高校と同じである。ただ宗教的な背景を持つ学校によっては多少コースが変わる。昨年の行き先きは二百六十八校中、九州方面が四八%、北海道、東北二〇%、関西二〇%その他一二%となっている。ただ遠方へ行く傾向にあるようだ。

田中　要するにいままでのように安易な考えや方法ではなく新しい取りあげかたをしたいというのがほんとうだ。けっして他意はないのである。

司会　つぎに修学旅行の実施面についてお伺いしたいが、その前に橋先生から教育課程の改訂に今後の指針としてよい資料を提供してくれることを希望したい。

田中　さきほど申しあげたように日比谷高校の修学旅行中止は間違って報道されたもので、原則的には修学旅行は必要な学校行事だと思っている。ただ実施面についての改善だけが課題として残っているわけだ。この座談会がわれわれ

教科課程の改訂は

どう変わるか、現在のところわからない。修学旅行のねらいとか目的などは現行の指導要領にはっきり打出されており、積極的な意見は出ていないようである。

中止せぬ日比谷高校

田中　この意味で修学旅行のばあいも旅行業者の〝営業〟にまかせっぱなしはいけない。こうなると目的からはずれることが多い。全修協は修学旅行というものをさらに研究して、修学旅行とはこうあるべきだという方向を示してほしい。

司会　日比谷高校の修学旅行中止がいろいろな話題をよんでいるが。

田中　誤って報道されたきらいがある。実は中止ではなく来年から方法を改めて実施するということなのだ。修学旅行を考え直してみたいというのが本意である。

原田　日比谷高校のばあい、原因の一つに大学入試があげられているが、実はそうではないと思う。日比谷高校独自のやりかたで実施したいというのであろう。私にいわせれば日比谷高校ぐらいの研究心があってよいのだ。

業者依存はこまる

田中　従来の修学旅行は物見遊山の気分がぬけきれないのではないか。四百五十人の生徒が一時に出かけるのだから、いろいろな問題がおきるのは当然である。修学旅行をたとえば近代産業の見学にふり向けたり、あるいは浩然の気を養うところへ行くのもよいではないか。

山本理事長　美しい国土にふれ、社会のいろいろな施設に接して総合的にものを判断し、そして友情を堅く結びあうことーこれが修学旅行の目的ではないか。郷土に対する愛情と、ひいてはひとりの人間となる責任の重大さを感じながらはげましあい、語りあうのが修学旅行であろう。「わが師の恩」と歌い「蛍の光」に送られて学窓をでていく生徒たちにとって修学旅行は深い意義がある。つまり修学旅行は学校生活の総仕上げなのだ。

検討の時機に到達

田中　しかし現実の修学旅行は業者の誘惑を排除するだけの力を先生自身が持つべきだとおもう。

田中　修学旅行が学校教育である以上、先生の力を必要だが、地域団体や国の力をかりることも必要だろう。

司会　鈴木先生、埼玉県という地域にあってのお考えは。

鈴木　われわれの学校は輸送機関にバスを利用することが多い。ところがバス旅行は実につかれ、惨めなくらいだ。ところが原田先生や全修協のおかげで専用電車の「わかくさ号」ができた。バスとちがって病人がひとりもでないようになった。座席はゆったりだしのびのびと旅がたのしめる。まったく感謝のほかはない。ことしは昨年の倍の生徒が、「わかくさ号」で関西へ行くが、ここにあらためて原田先生がたにお礼を申しあげたい。

司会　「わかくさ号」のおかげで関東地区の子どもたちはどんなに楽しい旅ができるか、まったくうれしいことだ。

原田　あの「わかくさ号」は国鉄総裁だった十河さんの力でできたものだ。十河さんは子どもの幸せになることをぜひやりたいというねがいをもっておられたからで新幹線も十河さんがおられたから完成したのだ。われわれ修学旅行に関心をもっている者の恩人であることをご銘記ねがいたい。みなさんのお話を最後までおきくできないのが残念だが、次代をになう子どもたちのための修学旅行をさらによりよくするために、すばらしい論議が行なわれることを期待したい。（退席）

郷土開発の原動力

山本理事長　ことしは明治百年修学旅行もこのへんでご維新を迎えてよいころだ。昔は卒業旅行と呼ばれたくらい学校教育の最後を飾るものだった。かつてのお供勢まいりが稲の品種改良に役立ったこと、また往時の盛岡農林が三、四カ月間の北海道旅行を行ない、岩手県の土地開発の原動力となった事実を思えば修学旅行というものが郷土の発展にいかに大きな貢献をするか、あらためて見直したいと思う。

司会　それでは続いてその実施方法や具体的な問題について先生がたからご意見をうけたまわりたいと思う。（次号につづく）

病人が出なくなった

＝専用電車の誕生で＝

原田　業者は客をたくさん集めるのが目的だから当然物見遊山になる。修学旅行の主体性は学校にあるということから出発しなければならない。同じ場所へ行き、一般観光客に混っていても規律ある団体行動に終始すればその学校の教育程度がうかがわれるということもあろう。そのような学校が少なく、田中先生のいわれることがあるからこまる。全修協はこういうことを研究する団体だから大いに力をいれてほしい。

山本理事長　学校の先生に修学旅行にたいする信念があったら業者の誘惑を排除するだけの力を先

出席者（敬称略・順不同）

衆議院議員（自民党副幹事長）　原田憲
文部省初中局長代理初中局視学官　大橋秀雄
文部省文化財保護委員会普及課長　金田智成
東京都教育長代理指導部第四課長　松村謙
全国高等学校長協会会長（都立新宿高等学校長）　成田喜英
東京都立日比谷高等学校長　田中喜一郎
埼玉県中学校長会長（埼玉県加須西中学校長）　鈴木仲治郎
東京都教育委員会指導部第三課　川合元彦
東京私立中高協会修学旅行研究調査会代表幹事（聞友学園中学高等学校教諭）　新井福之助
全国高等学校長協会事務局長　渡辺九郎治
全修協側（理事長）山本種一（事務局長）白滝末紀（新聞部長）早川泰雄（司会・調査研究部長）山本実　ほか

今年の夏休みのご計画に

第10回 教職員研修旅行（会員募集中）

コース ◆北海道 ◆九州 ◆四国一周 ◆山陰一周 ◆南紀一周 ◆能登・立山 ◆黒四ダムと乗鞍 ◆佐渡・磐梯 ◆東北 ◆沖縄 ◆香港・台北

申込 詳細は学校に配布した募集要項をご参照お申込み下さい

財団法人 全国修学旅行研究協会

東京都千代田区西神田1～3（幅ビル内） TEL(262) 2426・2932

祝 修学旅行新聞（「旅と文化」改題）発刊

文部大臣 中村梅吉
衆議院議員 原田憲
衆議院議員 坂田道太
都道府県教育長協議会幹事長 小尾馬雄
近畿日本鉄道株式会社 取締役社長 佐伯勇
近畿日本ツーリスト株式会社 取締役社長 久保常明
関西汽船株式会社 取締役社長 友貞甚輔
奈良交通株式会社 取締役社長 高橋公男
大島運輸株式会社 取締役社長 有村治岑
三重県観光開発株式会社 取締役社長 玉置良之助

楽しく安全に　宿泊対策

昼夜の特別査察も

学校側はぜひ協力を

東京消防庁
本郷消防署

春の修学旅行シーズンを迎えて旅館の受入れ態勢は万全か！。最近、各地の旅館火災などによる事故が多く出ているので、このおそろしい災害から児童、生徒を守りたのしい修学旅行をするために、どんな対策がたてられているか。また、受入側からはどんなことを学校側に要望しているか。旅館の火災事故撲滅を期している東京消防庁、文京・本郷消防署、京都市消防局および文京・本郷旅館協同組合の対策と要望をきいてみよう。

確定人数を消防署へ

年間を通していちばん火災の多い季節を迎えて東京消防庁では三月二十二日から都下消防署を通じ全都の旅館、ホテルに対して昼夜二回にわたる査察指導を行なっている。非常口、消火器具、警報装置の完備を期しているが、とくに旅館従業員の処置活動と学校側の協力を望んでいる。旅館の火災のばあい、悲惨を招くのは従業員の不手際と、引率責任者の防災への関心度の低さであると指摘する。

このため同消防庁では「宿に到着したらすぐ所轄消防署へ必ず確定人員を連絡してほしい。もちろん旅館を通じて連絡してもよいが、旅館側では大多数の児童、生徒のために手が回わらぬこともあるから、ぜひ直接に消防署へ」と引率者に要望している。この報告によって消防署では旅館ごとに宿泊人員表を作成、万一のばあいに備えるわけだ。

引率責任者は事前の防災用具の点検、非常口や避難階段の確認ももちろん必要。万一火災が発生したら大声をあげて生徒たちを起し安全な場所へ誘導する。生徒たちには消火器の使用をさせぬほうがよい。おとなでも触れたことのない器具を急場になって子どもが使えるわけがないからである。これは従業員にまかせて避難することが第一だという。荷物や衣類は一か所にきちんとまとめておくことも混乱を防ぐ一方法。また、火災のばあいは電灯が消えるので〝懐中電灯〟も携帯品のなかに加えてほしいと望んでいる。

「消防署だけが躍起になっても無駄だ。旅館、利用者の三者が一体となってこそ完全な防火態勢ができる」といっている。

とくに約百二十軒のホテルや旅館のうち、四十五軒が修学旅行の団体専用旅館を抱えている文京・本郷消防署はこのところ一段と査察を強化、昼夜二回の旅館指導を実施している。一日に一万二千人から一万三千人におよぶ児童、生徒が宿泊するためその苦労もたいへんだ。旅館にたいしてはブロック別の講習や実地訓練を重ね、夜間には宿舎に先生を訪ねていろいろと話し合っている。同署へこのほど「新潟県小千谷市の中学校三年生一同」から書面が届いた。それは宿泊する旅館の設備の問い合わせで、同署ではさっそく防災の見地からくわしい返事を出したというが、このような事前連絡は年に二百通を下らないそうだ。なかには簡単な印刷物で「よろしく頼む」というだけのものも多く、驚いたことには保健所あての分も混ってくるという。同署の江口予防課長は「消防署へハガキ一枚で頼んでおけば大丈夫というのは困る。事前の調査なら喜んでお教えしたいが、あなたまかせでは…」と苦笑する。「旅館へ着いたら先生がたでよく調査して対策をたてておいてほしい」

とくに東大前の旅館街は道路も狭く、中には古い建物もあるため本郷消防署はこのところ昼夜乗行で旅館と利用者側の指導に全力をあげている。

なお同庁の調べによると昨年一年間に都内で起きた旅館の火災は五〇件で、死者四、負傷者二三を出しており、また出火の場所は宿泊室が最高で二五件となっている。

危険な生徒の喫煙

京都市消防局から注意

年間百四十万の児童生徒を受け入れる京都市でも消防局が中心となって旅館の指導に当っているがその防火設備にたいして基準を定め一級から十五級まで（級が多いほど危険度が高い）に格付けしそれに応じた査察を行なっている。

同局では従来の実例として①男子高校生の喫煙で吸いがらを押入れや周囲に入れたり、戸外に捨てる②深夜に非常口や避難梯子を利用して外出する③消火器具のいたずらでケガをした④荷物を廊下へ放置して退避の妨げとなったなどを挙げており、また引率者は生徒と同室に宿泊し、女生徒や低学年生はなるべく階下へ寝せるようにといっている。

また学校当局にたいし旅館をきめるときには防火等級のよいものを選ぶこと、消防署への事前調査の依頼は回答期間を考慮のうえ、なるべく速くしてほしいと望んでいる。

サービスは防災で

本郷旅館組合が力こぶ

この大部隊を収容する旅館側もたいへんだ。大学受験の生徒が引きはらうとこんどは修学旅行。本郷旅館協同組合に所属する百二十軒のうち修学旅行専用の旅館はいろいろな対策をたてているが、なんといっても一番頭の痛いのは火災。消防署と連絡をとって設備の改善、従業員の訓練など災害時の用意は怠りない。このほど消防署と協力して「旅館防災対策小委員会」を設けるなど徹底的な防災態勢を整えている。組合では「防災の完備もサービスのひとつ」を合言葉に〝安全で楽しい修学旅行〟を目指している。

碌山美術館も追加

黒四コースの新企画

ことしの研修旅行は各コースとも、とくに企画をねったが、中でも黒四コースにとり入れられた「碌山美術館」の見学は、参加者の感銘をよぶものであろう。

同美術館は、信濃教育会の主唱で建設されたもので大糸線穂高駅下車、穂高中学校の校庭にあり、若くして逝ったわが国近代彫刻の開拓者荻原碌山の作品と事蹟が保存されている。

ことしの研修旅行

魅力のコンバイン輸送で

夏休みを有意義に楽しくすごす全修協の研修旅行は、ことしで第十回を迎え、多数会員の改善意見をとり入れた新しい企画で募集を開始した。

特に九州と東日本を結ぶための新幹線と瀬戸内海の船との海陸コンバイン輸送は、新しい魅力をそえている。

昨年は大分県で開催された高体連などの行事のため、船が混雑しまたこの時期は多客期でもあるので、ことしは冷房の修学旅行専用船（わかば丸・ふたば丸）を文字どおり研修旅行用専用としたためゆったりとした船旅が楽しめる。

ことしは、先生方の研修計画が早く、すでに千名をこす申込みで今から盛んな夏の旅行が予想されている。

〃〃〃〃〃〃

楽しみなわかば号

奈良県橿原中　亀岡作雄

修学旅行新聞をご送付下さいましてご厚情に深謝しています。念願の〝わかば号〟誕生の記事に接しようとびにたえないと共に、あらためて関係のかたがたのご尽力に敬意を表します。小生の学校も来る五月の修学旅行には〝わかば号〟を利用させていただく予定で、いまから楽しみにしています。（本協会奈良県支部長・吉田新太郎氏あて）

たより

成果を持ち寄って

近畿地区公立高校　修旅研究大会開く

近畿地区高等学校長連絡協議会（会長＝兵庫県立長田高校長・植杉英之助氏）と近畿地区高等学校修学旅行委員会（委員長＝大阪府立清水谷高校長・堀江駒太郎氏）では大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山、三重の各府県教委と大阪、神戸、京都三市教委の後援、全修協などの協賛で四月五日午後一時から大阪市東区谷町の三和銀行谷町支店会議室で近畿地区三重県を含む公立高校修学旅行研究大会を開く。テーマは①府県市修学旅行基準の改正②付添教職員の人員・処遇③輸送方法の改善（春の集約臨設定、一ボックス三人掛、専用船の定員など）④修学旅行専用宿舎建設要望書⑤新しい修学旅行コースの設定などについて研究発表があり、申り角に立つといわれる今後の修学旅行の実施に大きな成果をあげるものと期待される。

全修協だより

▼山形県支部

本県では研修旅行参加者の間から「友の会」をつくって旅を楽しく語り合いたいという声が出ていたが、このほど関係者が集まり山形県教育旅行懇話会を結成した。会長は揚妻政氏（県小学校長会長）顧問に梅津竜夫氏（県教育長）発戸全修協県支部長が就任した。

▼西日本支部長会議

九州、中国、四国、近畿各府県支部長は三月十六日京都市の京都教育文化センターに集まり、十周年を記念する昭和四十一年度の運動方針について協議した。

東京をきれいにしよう

★主催　東京都　☆後援（財）全修協

東京へ来たら

○駅や旅館、見学地に紙くずや空ビンなどを捨てないように

○道路や公園などの木や花を大切に。

○路上にタンやツバを吐きすてないように。

博多どんたく

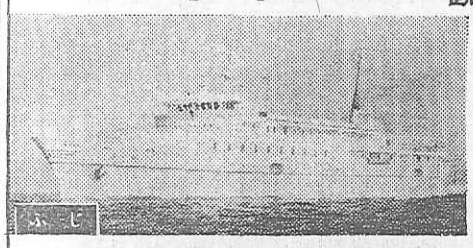
〃〃〃〃〃

○…との起りは古く、文禄年間（十六世紀の終り）のことといわれ、オランダ語からなまったもの。むかしは一月十五日の新年の儀式だったが今では毎年五月三日から五日まで催される。〃ばんちかわいや、ねんねしな〃とどんたくばやしにのった家と踊りが福岡市内をわきたたせる。

○…商人が藩主へ年賀の挨拶へ行ったという〃松ばやし〃を組み、エビス、大黒、福禄寿に扮した人々が馬にのりそれに稚児や曳物がついて市内を練り歩く。呼びものは〃御代の栄〃のはやしにつれて踊り歩く花笠をかぶった連中の華麗さであろう。

祭りの歳時記

修学旅行は
日本最大の豪華観光船「ふじ」で

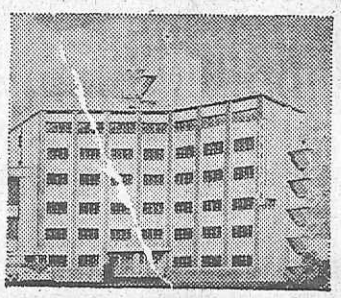


団体専用船「ふじ」が昭和40年8月に就航しました。科学の粋を集めた画期的な最新鋭船です。生徒達の心にいつまでも残るユニークな修学旅行をお約束します。
みなさまのスケジュールにあわせて全国各地のどの港へもご案内できます。

完全冷暖房、明るい船室、豪華なサロン、ロンジ、広いプロムナードデッキ、倶楽部室、浴室

トン数……3,000トン型
速　力……20.04ノット
定　員……1,800名

お問い合わせは
東京事務所
東京都中央区晴海町5の7
TEL（531）9211（代表）
Ⓐ 大島運輸株式会社



環境と近代設備を誇る
修学団体旅行のオアシス

東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25　電話 東京（401）5111～5（千駄ヶ谷駅代々木駅）徒歩3分

さきに近畿地区高等学校長連絡協議会で「現行修学旅行のあり方について研究する」ことにきまり、その調査を近畿地区高等学校修学旅行委員会および全修協大阪事務所でおこなっていたが、このほどその結果がまとまった。

関係地区六二三校を対象とする悉皆調査で実施されたがこれによって現場における修学旅行の動態が明らかにされ、今後の改善施策に有益な資料を提供している。

調査は（A）修学旅行の実施状況について期日など十八項目（B）修学旅行の改善方策について現行修学旅行の問題点など四項目から成っており、この統計分析は三七四校からの回答によっておこなわれた。

産業、学術的な傾向へ

近畿地区公立高校修旅調査　〃秋期型〃が圧倒的

まず実施期日は十月の一三〇校が圧倒的に多く、十一月の六八校、五月五一校、四月四九校で三月は四二校、秋期に多いのが特色である。実施日数は五泊六日が二三四校、四泊五日が一二七校でほとんどを占めている。方面別では北九州一八八校、南九州一一九校が大部分で、九州一周は一七校、信州・北陸は一二校にすぎない。また期日や方面の決め方として、学校の意志で決めるのが一六六校、生徒の希望をきくのが一六三校、両方で決定するのが二九校。

生徒一人当たりの経費は五泊六日で八〇〇〇円から九〇〇〇円が最も多く、四泊五日の場合は六五〇〇円から七五〇〇円が多い。宿泊地と宿泊費の関係では九州は六五〇円～七〇〇円で二四五件、七〇二円～七五〇円が一三九件、七五一円～八〇〇円が一七三件と集中しているが、四五〇円から一〇〇〇円以下まで上下のひらきが大きい。九州以外でもほぼ同様である。

生徒旅費の支出方法はほとんど積立金で、参加率は一〇〇%が三三校、九九%五二校、九八%七〇校、九七%五二校と相当高率だが、逆に三九%参加という学校もある。不参加の理由は病気虚弱などの身体的事情によるものが二六七名、これにたいし経済的事情のものは二九名で意外に少ない。小遣銭は三〇〇〇円が一五六校、二〇〇〇円八八校。

（A）の実施状況に対応した（B）の改善方策については観光中心の傾向大、産業学術的見学地を含む必要があるとするもの三六校。北九州コースを大体良好とするもの四九校。輸送方法では現行で大体良好とするもの二二校、座席の窮屈を訴えているのが四五校あった。また専用電車の建造を望むものが九七校もあって快適安全な輸送を希望している。

斡旋業者との関係については大体支障なしが五〇校で業者まかせの傾向があり、学校の自主性必要というのが一五校で一般にいわれていることがある程度裏付けられている。実施時期は十、十一月がよいとする秋型七二校に対し四、五月をよいとする春型は三九校、二学期の実施は学校行事や学習気分をそぐので困るというのが十三校。

宿泊施設については専用の宿泊施設を希望するものが二一校もあってかなり強い要望を示している。また、修学旅行を実施していないところは、学校の教育課程上からとするもの、参加希望が六五%に達しないため学校行事として意味が薄いとしているものもあり注目される。そのほか統計的に示されていない具体的な現状の改善方策など参考とすべき意見が多く出されており、関係者に対して貴重な示唆を与えている。